

「問い」が生まれる授業のポイント（社会）

～「問い」を引き出し、「見方・考え方」を働かせる課題解決的な授業展開の工夫～

社会科では、「社会的な見方・考え方」を働かせ、「課題を追究したり解決したりする活動」を通して、「公民としての資質・能力の基礎」の育成を目指します。地理的（位置や空間的な広がり）、歴史的（時期や時間の経過）、社会的（事象や人々の相互関係）な視点で社会的事象を捉えさせ、「問い」を引き出し、児童生徒が主体的に学習する課題解決的な授業展開を工夫しましょう。

導

① 課題把握

本時の課題を提示し、気付きや疑問などから「問い」を引き出す

- 実物や写真などの興味・関心を高める資料提示を工夫しましょう。
- 知識や経験との「ずれ」を生じさせる発問を工夫しましょう。

入

② めあて

「問い」を生かし、「めあて」を設定する

- 引き出した「問い」を生かし、「めあて」を設定しましょう。
- 主体的な学習につながる「めあて」を設定しましょう。
- 「社会的な見方・考え方」を働かせる学習を意識しましょう。

展

③ 見通し

「めあて」の達成に向けて学習の見通しを持たせる

- 調べた結果について予想させましょう。
- 活用する資料や調べ方について見通しをもたせましょう。
- 個人やグループなど、主体的・対話的な学習をイメージしましょう。

④ 情報収集 (知識・技能)

様々な資料から情報を集め、読み取る

- 多面的・多角的に追究できる適切な資料を準備しましょう。
- 複数の情報を比較・分類・総合し、地域や生活と関連させましょう。
- 児童生徒同士の情報交換の場を設け、多様な情報の共有を図りましょう。

開

⑤ 考察・構想 (思考力・判断力)

集めた情報を基に考察したり、解決に向けて構想したりする

- 社会的事象の意味や意義、特色や相互関係について考えさせましょう。
- 課題の解決やよりよい社会の実現に向けて選択・判断させましょう。
- ペアやグループでの対話を通して考えを広め、深めましょう。

⑥ 説明・議論 (表現力)

考察・構想したことを説明したり、それを基に議論したりする

- 考察・構想したことを文章や図表等にまとめ説明させましょう。
- 考察・構想したことを基にグループや全体で議論させましょう。
- 複数の立場や意見を踏まえて自分の考えを深化させましょう。

終

⑦ まとめ

「めあて」に正対する結論を文章等でまとめる

- 考察・構想した結果や説明・議論等を踏まえ、「めあて」に正対する結論を文章等自分のことばで表現させましょう。
- 児童生徒の言葉を生かしてまとめましょう。

末

⑧ 振り返り

学びの過程や結果を振り返り、新たな「問い」につなげる

- 分かったこと、調べ方や学び方など、学習の成果を振り返らせましょう。
- 新たな「問い」を引き出し、発展的な追究につなげましょう。
- 学んだことを今後生かそうとする意欲や態度を育てましょう。

単元を通して「問い」をつなぐ社会科学学習

「主体的・対話的で深い学び」は、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではありません。単元など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通したり振り返ったりする活動や、ペアやグループで対話する場面をどのように設定するのか、児童生徒がじっくり考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てればよいのかなどを意識しながら実現を図っていくことが大切です。

(例) 世界各地の人々の生活と環境〈9時間〉 ※中学校地理的分野

